

上野耕平 × 山中惇史 × 石若 駿



上野耕平
(サクソフォン)
©Yuji Ueno

上野耕平さんから本公演に向けてのメッセージをいただきました。

このトリオでの東京都内の公演は相当久しぶりの感じがしています。いつも何が起こるか分からない即興性、それぞれの音楽家がいつも違うフィールドで活躍していることもあり、その3人が集まった時に毎回違う景色が見えるということが、このトリオで演奏する時の最大の楽しみでもあります。今年は三鷹での公演ということで、久しぶりに都内や首都圏でこのトリオの演奏をお楽しみいただけることを、私自身とても楽しみにしています。演奏する曲には、その時代の最新のものを皆様に提示するようなメッセージもありますし、この日のために楽譜が出来上がる作品もあります。それぞれが違った魅力を持っているトリオだからこそ、いつも聴いていただいている表情とはまた違った表情、音楽を聴いていただけるのではないかと思いますので、何かが起こるこの空気感をぜひ三鷹に体感しに来てほしいと思っています。

山中惇史さんへのコメント

山中さんとはデュオで演奏し始めて、もう8年ぐらいになるでしょうか。2枚目の僕のアルバムからずっと一緒に演奏していただいています。初めて山中さんと一緒に演奏した時に感じたのは、自分に見えてない世界が見えていて、音楽を俯瞰して捉えている方だな、ということを第一印象として感じました。8年一緒に演奏していて、山中さん自身もどんどん進化していることを共演者としても感じますし、毎回彼から得るものがあります。また音色の変化の度合いも大きくなるし、種類も大きくなるし、この人は一体どこまで行くんだろうと思っています。最近日本を離れてパリにも拠点を移すという決断をされたことも大変尊敬できるところです。さらに進化した山中さんと一緒に演奏できるのも楽しみです、皆さんもきっとそれが手に取るように分かっているんじゃないかなと思います。



山中惇史
(ピアノ)
©Takafumi Ueno



石若 駿
(パーカッション)
©Seiya Uehara

石若 駿さんへのコメント

石若 駿君は東京藝術大学の同期で、大学に入学した時に出会いしました。もうその時点で彼はスーパースターとして、プロとしての演奏活動を行っていました。一緒に演奏するようになって、彼のようなスーパースターでも、僕が取り組んでいるクラシックのサクスをはじめ、どんな音楽に対しても常にリスペクトを持っている、そしてさまざまな音楽に対して柔軟に、石若 駿という音楽がずっと寄り添って入ってくる、そして主張していく、その才能は本当にすごいなと思います。先日彼のデビュー20周年のライブも聴きに行かせてもらったのですが、一緒に演奏しているミュージシャンが多彩なことに本当に驚きました。それだけ石若 駿の音楽がどんなところでも存在感があり、必要とされている、それが何よりの証拠かなと感じました。今回、彼と彼の作品で共演するというなかなかの試みです。彼が作曲した曲を今回のためにアレンジしてくれますが、これが本当に石若少年が音で遊んでるのかのような、そんな微笑ましい一面もあったり、「なんじゃこりゃ?! かけえ!」とみんなで音楽に酔いしれる一面もあったり、魅力がたくさん詰まっています。この日に来ないと聴けない作品だと思いますので、ぜひ皆さん楽しみにお越しください。

山中惇史さんおよび石若 駿さんからのメッセージ、コメントはホームページをご覧ください。

Pick up

レ・ヴァン・フランセ

出演

エマニュエル・パユ (フルート)
フランソワ・ルルー (オーボエ)
ポール・メイユ (クラリネット)
ラドヴァン・ヴラトコヴィチ (ホルン)
ジルベール・オダン (バスーン)
エリック・ル・サージュ (ピアノ)

©wildundleise. de Georg Thum



曲目決定のお知らせ

日本でも絶大な人気を誇る世界最高峰の管楽アンサンブル、「レ・ヴァン・フランセ」。2025年3月の演奏曲目が決まりました。皆さまのご来場を心からお待ちしております。

チケット
発売中

2025年3月16日(日) 14:00開演 **託児あり** *未就学児は入場できません。

全席指定 会員S席5,850円・A席4,950円 / 一般S席6,500円・A席5,500円
U-23(23歳以下/A席限定) 4,000円 *U-23の中学生以上の方は、入場の際に身分証明書のご提示をお願いいたします。

♪曲目 ルーセル: ディヴェルティスマン Op.6 シルヴェストリーニ: ピアノと管楽器のための六重奏曲 (世界初演)
デュイレ: ピアノと管楽器のための六重奏曲 変ロ長調 Op.6
カブレ: フルート、オーボエ、クラリネット、バスーンとピアノのための五重奏曲
ブランク: ピアノと管楽器のための六重奏曲 Op.100

上野耕平 × 山中惇史 × 石若 駿

12月21日(土) 16:00開演 **託児あり** *未就学児は入場できません。

全席指定 会員S席4,500円・A席3,600円 / 一般S席5,000円・A席4,000円
O-70(70歳以上/A席限定) 3,600円 / U-23(23歳以下/A席限定) 3,000円

*U-23の中学生以上の方およびO-70ご利用の方は、入場の際に身分証明書のご提示をお願いいたします。

♪曲目 吉松 隆: サイバーバード協奏曲 J.S.バッハ: G線上のアリア 石若 駿: Playgroundz ほか

チケット
発売中



コンサート・グランドピアノと625席の風のホールを貸し切り!

風のホールでピアノを弾こう!

ベーゼンドルファー編

毎回、多くの方にご応募いただいている「ピアノを弾こう!」ベーゼンドルファー編も好評につき、ご利用枠を増やし実施します! ふるってご応募ください。

2025年1月8日(水)・17日(金)・29日(水)

利用時間 〔各日共通 / 各回1時間〕*利用時間は準備と片付けを含みます。

① 9:15-10:15 ② 10:20-11:20 ③ 11:25-12:25 ④ 12:30-13:30 ⑤ 13:35-14:35
⑥ 14:40-15:40 ⑦ 15:45-16:45 ⑧ 16:50-17:50 ⑨ 17:55-18:55 ⑩ 19:00-20:00

参加費 1時間 2,500円 *追加1人につき500円(追加は5人まで)

申込方法 申込フォームからお申し込みください。*申込は、お1人様1回のみ

申込締切 12月1日(日)

*申込多数の場合は抽選(抽選結果にかかわらず、12月10日(火)までにメールで全員にご連絡いたします。)

申込フォーム▶



ご利用について

- ご利用可能人数は6人までです。交替での演奏や他の楽器との合奏も可能ですが、舞台上で演奏をされる方は追加料金が必要です。
- 有料のレッスンや発表会、観客を入れてのコンサートなどの営利目的での利用はできません。
- 使用可能な備品は、背無しピアノ椅子1脚・背付きピアノ椅子2脚・ピアノの補助ペダル・演奏者用椅子5脚・譜面台5台です。音響設備は使用できません。
- 使用前の調律やピアノの移動、ピアノの弦を直接弾くことや、弦と弦の間に物を詰めるなどの特殊奏法はできません。
- 小学生以下の方のご利用は、保護者の付き添いが必要です。
- ご利用当日は1階チケットカウンターで参加費のお支払いを済ませてから、風のホールロビーでお待ちください。利用時間になりましたら、スタッフがご案内します。
- ホール搬入口は利用できませんので、地下駐車場(有料)をご利用ください。
- ご当選後の申込枠の譲渡はできません。また、ご当選後、参加日の1週間前からの利用取り消しは、2,500円のキャンセル料をいただきますので、あらかじめご了承ください。

巨匠と共に贈るミタカ・フィルの『四季』と『ザ・グレート』

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア 第90回定期演奏会

2025年3月15日(土) 15:00開演

*14:30から、みたかジュニア・オーケストラによる
プレ・コンサートがあります。

チケット発売日 会員 11月20日(水)
一般 11月22日(金)

全席指定

託児あり

沼尻竜典

(音楽監督・指揮)

会員S席 5,400円・A席 4,500円

一般S席 6,000円・A席 5,000円

U-23(23歳以下) 3,000円

●三鷹市内在住・在学の小学生～高校生 1,500円(電話予約のみ)

*U-23および●をご利用の中学生以上の方は、入場の際に身分証明書のご提示をお願いいたします。

*未就学児は入場できません。

90
Tokyo
Mitaka
Philharmonia

ミタカ・フィル
創立30年!



トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア(管弦楽)

©YUSUKE TAKAMURA

♪曲目

ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲集『四季』全曲(ヴァイオリン独奏: フェデリコ・アゴ스티ーニ)

シューベルト: 交響曲第8番 ハ長調 D. 944「ザ・グレート」

フェデリコ・アゴ스티ーニ

(ヴァイオリン独奏)

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア、記念すべき90回目のコンサートでは、ヴィヴァルディとシューベルトの作品をお送りします。

ヴィヴァルディの『四季』全曲は、伝説的なイタリアの合奏団「イ・ムジチ合奏団」のコンサートマスターを務めたフェデリコ・アゴ스티ーニを迎えてお送りします。風のホールに響きわたる四季のうつろいを存分にご堪能ください。

また後半は、シューベルトの交響曲第8番「ザ・グレート」を演奏します。この作品は、シューベルトが

亡くなった後、シューマンが彼の遺品の中から発見し、さらにはメンデルスゾーンが初演を行ったことで知られています。歌曲のイメージが強いシューベルトですが、これまでにない壮大なスケールを誇り、メンデルスゾーンが絶賛したとされる「ザ・グレート」。

沼尻竜典×ミタカ・フィル創立30年幕開けの瞬間をお見逃しなく!

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア HP



リハーサル見学会 2025年3月13日(木) 14:00-15:00 **会場** 三鷹市芸術文化センター 風のホール

本公演前に開催するリハーサルの一部をご覧ください。恒例の見学会です。

プロのオーケストラが本番に向けてどのように音楽を作り上げていくのか、その過程が見られる貴重な機会です。

【定員】60人(先着) 【参加費】本公演のチケット持参の方は無料。見学会のみご希望の方は500円(当日支払い)

【申込方法】電話0422-47-5122(要予約) 【受付開始日】会員11月20日(水)/一般11月22日(金)(チケット発売日と同日)

みたかジュニア・オーケストラ 第25回演奏会



今、漕ぎ出す～音楽の大海原～

2025年3月23日(日) 14:00開演  託児あり

チケット発売日 会員 11月20日(水) / 一般 11月22日(金)

全席指定 4歳～入場可 *3歳以下のお子さまのご入場はご遠慮ください。

会員800円 / 一般1,000円 / 小学生～高校生800円 / 未就学児(4歳以上) 無料
三鷹市内在住・在学の小学生～高校生500円 *電話予約のみ

出演 内藤佳有(指揮・ピアノ独奏)、みたかジュニア・オーケストラ(管弦楽)

曲目 プリテン：シンフォニエッタop.1(小管弦楽版)

モーツァルト：ピアノ協奏曲第22番 変ホ長調 K.482(ピアノ独奏：内藤佳有)

シューベルト：交響曲第6番 ハ長調 D589



内藤佳有

写真：鈴木千尋



助成：公益財団法人 JKA

今年、結団25年を迎えたみたかジュニア・オーケストラ(MJO)。第25回演奏会は、管弦楽作品とピアノ協奏曲、交響曲をお届けします。

「シンフォニエッタop.1」は、イギリスの作曲家ブリテンの作品です。3つの楽章から成り、複雑なリズムや緻密な旋律は、これまで培ってきたMJOのアンサンブル力を発揮できることでしょう。

モーツァルトの「ピアノ協奏曲第22番」は、彼の代表作である歌劇『フィガロの結婚』と同時期に作曲されました。モーツァルトならではの明るく親しみ

やすい旋律と軽やかなパッセージが聴きどころです。MJO指揮者、内藤佳有による8年ぶりの弾き振りにもご注目ください。

最後に演奏するシューベルトの交響曲第6番は、彼が21歳の時の作品です。自身が尊敬しているベートーヴェンの影響を受けて作曲されたことがうかがえる作品です。

結団25年を記念するオリジナルティあふれるプログラムをどうぞお楽しみください。



みたかジュニア・オーケストラ リハーサル見学会 & 入団説明会

第25回演奏会のリハーサル見学と合わせて、入団説明会を開催します。入団説明会では、皆さまからのご質問にもお答えします。お気軽にお尋ねください。

2025年3月22日(土) 16:00-17:00 会場 三鷹市芸術文化センター 風のホール

申込・問合せ 3月21日(金)までに申込フォームからお申し込みください。



フライブルク・バロック・オーケストラ with クリスティアン・ベザイデンホウト

「古楽界のベルリン・フィル」FBOと世界屈指のフォルテピアノ奏者が贈る
モーツァルトが二人の令嬢にささげた2大ピアノ協奏曲

クリスティアン・ベザイデンホウト
(首席客演監督 / フォルテピアノ)



©Marco Borggreve

フライブルク・バロック・オーケストラ(管弦楽)



2025年4月6日(日) 14:00開演  託児あり

全席指定 会員 S席 6,750円・A席 5,850円 / 一般 S席 7,500円・A席 6,500円

O-70(70歳以上/A席限定) 5,850円 / U-23(23歳以下/A席限定) 4,000円

*U-23の中学生以上の方およびO-70ご利用の方は、入場の際に身分証明書のご提示をお願いいたします。

 託児あり
*未就学児は入場できません。

♪曲目 ハイドン：交響曲第74番 変ホ長調 Hob.I:74、モーツァルト：ピアノ協奏曲第17番 ト長調 K.453*
ヨハン・クリスティアン・バッハ：交響曲 ト短調 op.6-6
モーツァルト：ピアノ協奏曲第9番 変ホ長調 K.271「ジュナミ」(ジュノム)*
*使用楽器(フォルテピアノ)・・・ポール・マクナルティ(2002年作)によるアントン・ワルター・モデル(1800年頃)

2023年10月にイザベル・ファウスト(ヴァイオリン)、クリスティン・フォン・デア・ゴルツ(チェロ)と共にチェンバロで素晴らしい演奏を聴かせてくれた鍵盤楽器奏者、クリスティアン・ベザイデンホウト。「モーツァルトの再来」とも称されるベザイデンホウトが、今回はフォルテピアノの演奏で、「古楽界のベルリン・フィル」フライブルク・バロック・オーケストラ(FBO)と共に風のホールに登場します。

コロナ禍で一旦延期になった本公演が、三鷹市芸術文化センター開館30周年を迎える2025年に、ついに実現! FBOは当センター風のホールに、2012年の初来日公演以降通算5度目の登場です。

FBOは1987年の結成以来、バッハをはじめとするバロック時代の管弦楽作品からハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、メンデルスゾーン、シューマン等の交響曲や協奏曲、ヘンデルやモーツァルトのオペラを生き活きと弾むようなテンポで演奏し、今生まれたばかりであるかのような新鮮さを持ち合わせた秀演を世界各地で繰り広げています。風のホールにおいても、親密で演奏する歓びや聴き手と共に音楽を分かち合う祝祭的な喜びに満ちたFBOのパフォーマンスが、多くのお客様の心をつかんできました。

一方のベザイデンホウトは、モーツァルト研究のチャームな実践者としてのみならず、FBOの辣腕ディレクターとしての才能も発揮しています。本公演は、ベザイデンホウトの自由闊達、縦横無尽に繰り広げられる弾き振りをFBOとの共演で聴ける絶好の機会となります。

今回は、モーツァルトのピアノ協奏曲第17番と第9番「ジュナミ」(ジュノム)をメインに据えたプログラムをお贈りします。第9番「ジュナミ」は、舞踊家を父に持つフランスの鍵盤楽器奏者ヴィクトワール・ジュナミ(1749-1812)に捧げられたという説で知られており、軽快な第3楽章にあって、突然登場する「カンタービレ」と指示された「メヌエット」に意表を突かれます。第17番は、1784年当時、モーツァルトが貴族の子どもたちに教えていた中でも特に優秀だったバルバラ・プロイヤール嬢のために作曲したと言われる、愛らしさにあふれた作品です。

ベザイデンホウトとFBOによる現在、最も理想的と言えるモーツァルト：ピアノ協奏曲演奏の顔合わせ。「古楽演奏なら風のホール」とのお墨付きを演奏家と聴衆の双方からいただいている当ホールが、自信をもってお贈りするコンサートです。どうぞお聴き逃しなく!

音楽

6

芸術文化センター風のホール



この演奏会は、競輪の補助を受けて開催します。
<https://jka-cycle.jp>

病室

劇団普通

出演者の皆さんから、
本公演に寄せての、コメントが届きました。

用松 亮 Ryo Mochimatsu

先日、父親が心臓の病気になり検査入院し、そのまま手術をしました。自分も43歳になり高血圧、痛風、高血糖と成人病予備軍になってしまいました。生きていくのは大変ですが、健康でいられるのはもっと大変です。いつまでも元気でいられるとは思ってませんが、もう少し、穏やかに過ごせますように。入院生活はすぐそこに迫っているかも。病氣と向き合いながら楽しく過ごす『病室』をお楽しみください。



上田 遥 Haruka Ueda

わたしは麻衣さん*という人が好きなのです。まだ数回しか会っていませんが。劇団普通は、まさに麻衣さんがつくった舞台だなと思いました。一見普通にみえる、なにもないようなその空間と会話にひそむおもしろ、底の知れなさ。たのしみです。

*劇団主宰の石黒麻衣さん

重岡 漠 Hiroshi Shigeoka

劇団普通の前回公演『水彩画』を観劇した際、現実の人の会話を覗き見ている感覚になり、罪悪感が湧きました。演劇だと分かっているにもかかわらず、気持ち悪さと面白さが入り混じった良い観劇体験となりました。ぜひ今公演でも、観てくださる方に罪悪感を植え付けられたらと思います。また、劇団普通の公演を初めて観劇したのがこちらの三鷹市芸術文化センターで2021年に上演された『病室』でした。そして今回その『病室』に出演できるということで、ご縁を感じざるを得ません。



渡辺裕也 Hironari Watanabe

この『病室』という作品に出演させていただくのも3度目となります。ありがたいことです。3年振りの再々演となるので、久しぶりに地元へ帰省するかのような、茨城が地元であるかのような、再々入院するかのような、そんな不思議な感覚です。石黒さんの作る稽古場の空気が好きだという役者さんは多いと聞きます。僕も同じ。今回もしっかり、じっくり、コトコトと稽古するのでしょう。茨城弁溢れる稽古場でじっくりコトコト煮込まれて茨城が染み込んだ頃本番です。楽しみです。



松本みゆき Miyuki Matsumoto

『病室』初演の稽古時は笑いの絶えない日々でしたが、これがお客様にどのように伝わるんだろうとドキドキしながら過ごしていました。それが今、再々演に至るまで多くの方に魅力を感じていただいていることを大変嬉しく思います。石黒さんと初めて出会ったのは、どこかの飲み場であった気がしますが、彼女の中で静々と燃え盛る創作エネルギーは少し怖さを感じるほどであったことを覚えています。また『病室』の一員となり、彼女の想いの深淵に迫れることが楽しみでなりません！再々演での変化、もしくは不変なるものを是非目撃しに来てください。



浅井浩介 Kosuke Asai

初めて劇団普通に出演したのが、三鷹市芸術文化センターで昨年上演された『風景』という作品でした。普通という劇団名とは裏腹に、異常なほど緻密なやり取りで描かれる作品に、今までのやり方とは違うとても新しい感覚で舞台上に立ったのをよく覚えています。茨城弁という普段自分が使っているのとは違う言葉で演じることも、結果として言葉の言い方に頼らずに、どうその場にいるのかを深く追求できる特別な経験でした。初演、再演は客席で拝見した『病室』の再々演、この場にいられるのを光栄に思います。気持ちも新しく、挑戦したいと思います。



武谷公雄 Kimio Taketani

今回、初めて三鷹市芸術文化センターさんに立たせていただきます。初めての劇団普通さん。初めての共演者の方々。まだ稽古も始まっておらず、わからないことだらけで何を書いたら良いかわかりませんが、僕の一番古い、三鷹市芸術文化センターさんの思い出は、学生時代に開演10分くらい前に三鷹駅に着き、劇場まで全速力で走ったことです。あまりにキツすぎて何の芝居だったかも思い出せません。それから開演前に三鷹の街を楽しめるくらい余裕を持って観劇しています。みなさんの懐の深さに甘え、甘えたまま、そのまま千穂楽までいきたいと思っています。



青柳美希 Miki Aoyagi

初演の『病室』チケット半券を今でも持っています。そして星のホールは数々の名作を観て感動した思い出の場所でもあります。大切にしたいものは歳と共に移り変わってしまうけど、それでもしがみつこうと握りしめて歩きたい。そうやって自分の中に残る確かなものが、私を元気づけてくれました。石黒さんの作品は、部屋の隅に落ちる陽だまりのような、大きな時間のなかでは見逃してしまうけど確かにあるものをいつも抱き上げてくれる。自分の孤独を見ていてくれる人がいるのかも。そのことに気づいたとき、共鳴するように魂が震えるのを覚えました。皆様から愛されてきた星のホールで『病室』に参加できることは身に余るほどの光栄です！



劇団普通『病室』 12月6日(金)~15日(日) 全12公演

作・演出 石黒麻衣

出演 用松 亮、渡辺裕也、浅井浩介、武谷公雄、重岡 漠(青年団)、
上田 遥、松本みゆき(マチルダアパルトマン)、青柳美希、石黒麻衣

公演詳細は、
次のページ



病室での日々の生活や人間関係、
そして人生を全編茨城弁で紡いだ家族の肖像。

劇団普通『病室』

作・演出 石黒麻衣

出演 用松 亮、渡辺裕也、浅井浩介、武谷公雄、重岡 漢（青年団）、
上田 遥、松本みゆき（マチルダアバルトマン）、青柳美希、石黒麻衣

12月6日（金）～15日（日）全12公演

	12/6 (金)	7 (土)	8 (日)	9 (月)	10 (火)	11 (水)	12 (木)	13 (金)	14 (土)	15 (日)
14:00		●【託】	●						●	●
18:30		★		休 演					●	●
19:30	★				★	●		●		

★…早期夜公演割引 【託】…託児サービス

全席自由 (日時指定・整理番号付き)

【会員】前売3,000円・当日3,300円

【一般】前売3,500円・当日3,800円

【U-22】前売・当日とも2,500円(当日身分証拝見)

【高校生以下】前売・当日とも1,000円(当日学生証拝見)

★早期夜公演割引は、すべて300円引き ※未就学児は入場できません。

*「U-22」および「高校生以下」は、いずれも公演日時点

【劇団プロフィール】

石黒麻衣（劇作家・演出家・俳優）主宰の団体。2013年旗揚げ。家族やきょうだい、友人のような身近な人々の日常を独自の緊張感とリアリティを追求した会話で描く。近年は、出身地の茨城弁による全編方言芝居を主に上演している。2020年9月には、豊岡演劇祭2020フリンジに参加。2021年には、MITAKA "Next" Selection 22ndに選出。2022年には、ユーススペース主催のテアトロコントに出演。佐藤佐吉賞2022にて『秘密』が最優秀脚本賞を受賞。

HP: <http://gekidan-futsu.com> X (@gekidan_futsu)

チケット
発売中

託児あり

*12/7(土) 14:00の回のみ

『病室』
2021年7月
三鷹市芸術文化センター 星のホール
撮影：福島健太

『病室』
2021年7月
三鷹市芸術文化センター 星のホール
撮影：福島健太

『病室』
2021年7月 / 三鷹市芸術文化センター 星のホール
撮影：福島健太

あらすじ

ある地方の病院。入院棟は静まり返っているが、ある一室からはいつも話し声が聞こえてくる。そこは大部屋で、4人の患者が入院していた。見舞いに来た母娘に同室の患者が話しかけたことをきっかけに、入院患者たちと家族、そして病院関係者の抱える不安、希望、現実、そして過去が浮き彫りになっていく。病室での日々の生活や人間関係、そして人生を全編茨城弁で紡いだ家族の肖像。希望の再々演。

その部屋には、喋れるものが集まっている。

公演に寄せて、作・演出の石黒麻衣さんからのメッセージ



撮影：福島健太

2019年の初演から、2021年の再演を経て、再び星のホールで『病室』を上演できることを大変嬉しく思っております。『病室』は劇団普通が近年上演しております全編茨城弁芝居のきっかけとなった作品で、言葉では言い尽くせない特別な思い入れのある作品です。まるで仲の良かった時も悪かった時も人生を共にした友人のような家族のような存在で、大切に思うと同時に思いつく胸の苦しくなるような思いがすることもあります。初演は5年前ですが、構想はそれより遥か昔、私が役者を始めたばかりの頃からあり、長い付き合いなのです。その『病室』とまた正面から向かい合う時が来ました。ですがまだ今は、心静かに隣に並んで座って顔も見ずにお互い話をしているような状態です。12月の上演の時、皆様に『病室』と私がどう向き合ってきたかを、是非ご覧いただけますと幸いです。

演劇

10

芸術文化センター 星のホール

CINEMA SPECIAL

スクリーンで観たい、チャップリン

全席指定

託児あり

*未就学児は入場できません。

会員450円/一般500円/学生400円(当日学生証拝見)

【配給】KADOKAWA

GOLD RUSH:
©1942 Roy Export S.A.S. Renewed.
©1942 Roy Export S.A.S. Dramatic Composition
©Restored 1979 The Roy Export Company Establishment.
All Rights Reserved.

CITY LIGHTS:
©1931 Roy Export S.A.S. All Rights Reserved.
Renewed: ©1938 Roy Export S.A.S. All Rights Reserved.
MUSIC COMPOSED BY CHARLES CHAPLIN
except LA VIOLETERA by and ©Jose Padilla.

mk2
FILMS

Charlie Chaplin™
©Bubbles Incorporated S.A./
Chaplin films made from 1918 onwards
©Roy Export S.A.S.



MODERN TIMES:
©1936 Roy Export S.A.S. Renewed.
©1963 Roy Export S.A.S. All Rights Reserved.

目を閉じれば浮かぶ、あのシーン、あのメロディ、あのフレーズ、そして—
あの姿、チャールズ・チャップリン。

何度もご覧になった方には、更なる驚きを。
初めてご覧になる方には、新鮮な興奮を。

映画史とともに生き、今なお色褪せることのないチャップリンの代表作の数々を、
ぜひ、大きなスクリーンで、お楽しみください。

2025年1月25日(土) 午前の部 11:00-12:26 / 午後の部 14:00-15:26 【完全入替制】

チケット発売日 会員 11月14日(木) / 一般 11月15日(金)

映画史に語り継がれるラストシーンが、激しく胸を打つ、不朽の名作。

『街の灯』 City Lights

1931年/アメリカ/86分/スタンダード・サイズ/モノクロ/サイレント/DCP/
デジタルリマスター版 / 字幕翻訳: 山崎剛太郎 / 字幕補足: 大野裕之

プロデューサー・監督・脚本・作曲・編集: チャールズ・チャップリン
出演: チャールズ・チャップリン、ヴァージニア・チェリル

街角で花を売る盲目の娘に恋をしてしまった放浪紳士チャーリー。しかしふとした誤解から、娘はチャーリーをお金持ちだと思い込んでしまい、仕方なく彼は毎日“お金持ちの振りをして”彼女から花を買ひ続ける。そんなある日、娘とその祖母が家賃を滞納し立ち退きを迫られていることを知った彼は、なんとかしようと手を尽くすのだったが、頑張れば頑張るほどうまくいかず…。

無償の愛の尊さを見事に描き切り、映画史に語り継がれるラストシーンが激しく胸を打つ、不朽の名作。



CITY LIGHTS:
©1931 Roy Export S.A.S. All Rights Reserved. Renewed: ©1938 Roy Export S.A.S. All Rights Reserved.
MUSIC COMPOSED BY CHARLES CHAPLIN except LA VIOLETERA by and ©Jose Padilla.

2025年3月29日(土) 午前の部 11:00-13:18 / 午後の部 14:00-16:18 【完全入替制】

チケット発売日 会員 2025年1月23日(木) / 一般 2025年1月24日(金)

最後の舞台に立つ老芸人の姿に自らを重ねた、チャップリンの映画人生の集大成。

『ライムライト』 Limelight

1952年/アメリカ/138分/スタンダード・サイズ/モノクロ/トーキー/DCP/
デジタルリマスター版 / 字幕翻訳: 清水俊二 / 字幕補足: 大野裕之

プロデューサー・監督・脚本・作曲: チャールズ・チャップリン
出演: チャールズ・チャップリン、クレア・ブルーム、バスター・キートン

チャップリンのアメリカ時代最後の作品であり、映画人生の集大成とも呼ぶべき自叙伝的映画。何よりも特筆すべきは、サイレント時代からのコメディ映画のライバル、バスター・キートンとの最初で最後の競演。主人公の老芸人カルヴェロは、自らの最後の舞台にキートンを迎え、二人そろって舞台に立つ。彼の手にはヴァイオリン、そしてキートンはピアノ。二人は言葉を交わさずに、掛け合いの演技をする。サイレント時代そのままの名人芸。チャップリンとキートン、芸を極めた二人の、映画史に永遠に記憶される名シーンが、そこにある。



LIMELIGHT:
©1952 Roy Export S.A.S. All Rights Reserved.
Renewed: ©1980 Roy Export S.A.S. All Rights Reserved.

【お客様へ】上映に際しましては、試写を行うなど最善を尽くしておりますが、製作年数が古い作品は、映像の状態(画像、音声など)が悪い場合がございます。ご了承のうえ、ご覧いただきますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。 *全作品、字幕はスクリーン下方に表示されます。

新春初笑い寄席

年の初めは、ご陽気に！

たい平落語で、初笑い！

はやしや たいへい

林家たい平 独演会

待ちました！この笑顔！

星のホールの初笑いは、2025年も、
林家たい平さんに飾っていただきます！

明るく人情味に溢れた、たい平落語で大笑いして、
新しい年をご陽気に、笑顔満開でスタートしてください！

出演 林家たい平 ほか

2025年1月19日(日) 14:00開演

チケット発売日 会員11月24日(日) / 一般11月27日(水)

全席指定 **託児あり** *未就学児は入場できません。

会員2,700円 / 一般3,000円 / 高校生以下1,000円

お1人様 2枚まで 同一のお客様が2枚までのご購入は可能ですが、
3枚以上は購入できませんのでご了承ください。



突き抜けるほどの、爆笑の渦！

桂宮活の、活きの良さ！

かつら みやじ

桂宮活 独演会

活きの良さなら、まさに独壇場！

畳みかける語り口で、お客様の心を鷲掴み！

観客を魅了し続ける宮治師匠の落語を、お楽しみください！

出演 桂宮活 ほか

2025年1月26日(日) 14:00開演

チケット発売日 会員11月24日(日) / 一般11月27日(水)

全席指定 **託児あり** *未就学児は入場できません。

会員2,700円 / 一般3,000円 / 高校生以下1,000円

お1人様 2枚まで 同一のお客様が2枚までのご購入は可能ですが、
3枚以上は購入できませんのでご了承ください。

その一席に、磨きをかけず

目が離せない、喬太郎勉強会

やなぎや きょうたろう

柳家喬太郎 みたか勉強会

喬太郎さんご自身が、今、新たにチャレンジしてみたい噺や、
久しぶりに高座に掛けてみたい噺を語る『勉強会』と銘打った落語会。
果たして今回は、どんな噺が聴けますか、その高座から目が離せません！

出演 柳家喬太郎 ほか

2025年2月1日(土) 昼の部14:00/夜の部18:00開演

チケット発売日 会員11月30日(土) / 一般12月4日(水)

全席指定 各回 会員2,250円 / 一般2,500円

*昼の部と夜の部が、同じ演目になるか違う演目になるかは未定です。

託児あり 昼の部14:00の回のみ *未就学児は入場できません。

お1人様 合計2枚まで 同一のお客様が「昼の部・夜の部」合わせて2枚までの
ご購入は可能ですが、3枚以上は購入できませんのでご了承ください。



撮影：Maple

噺の髄を、鷲掴む！

切れ味無双、立川志らく！

たてかわ しらく

立川志らく 独演会

決してぶれることのない、揺るぎなき落語への愛。
他の追随を許さぬ鋭い切れ味と、ほとばしる才気。
志らく師匠の高座を、今回も存分に味わってください！

出演 立川志らく ほか

2025年2月22日(土) 14:00開演

チケット発売日 会員12月1日(日) / 一般12月5日(木)

全席指定 **託児あり** *未就学児は入場できません。

会員2,700円 / 一般3,000円 / 高校生以下1,000円

お1人様 2枚まで 同一のお客様が2枚までのご購入は可能ですが、
3枚以上は購入できませんのでご了承ください。



額面を超える金額での
チケット転売を禁止いたします

オークションやインターネットサイト、金券ショップ等における、額面を超える
金額でのチケット転売は、いかなる理由においても固くお断りいたします。

藪の樺も、ほころびほどに

春呼ぶ高座、柳家花緑

やなぎや かるく

柳家花緑 独演会

明るくテンポのよい語り口が、花緑師匠の一番の魅力です。
蕾の桜も思わずほころんでしまうほどに、朗らかで、
温かさに満ちた花緑師匠の落語を、ごゆっくりお楽しみください！

出演 柳家花緑 ほか

2025年3月22日(土) 昼の部 14:00 / 夜の部 18:00 開演

チケット発売日 会員12月1日(日) / 一般12月5日(木)

全席指定 各回 会員2,700円 / 一般3,000円 / 高校生以下1,000円

*昼の部と夜の部が、同じ演目になるか違う演目になるかは未定です。

託児あり 昼の部 14:00の回のみ *未就学児は入場できません。

独演会に寄せて 柳家花緑

日本には「落語」がある。反対に世界に無いものが落語である。
先日、国際政治学者の藤井厳喜さんにお会いしたら『落語を聞かない日本人は損をしている』というお話で、世界的に見て落語と落語を聞くお客様は珍しいそうです。
外国人から見て「同じものを飽きずによく聞きに行くなあ」という感じだそうです。
お客様は物語の確認にきている訳では無く、オチが分かっているからお越しになる。
それは演者の工夫を観に来ている。つまり「芸」を観に来てください。
この会にお越し下さるお客様は、芸の解る「通」なお客様。
世界的に見て、とても珍しい人たちの集まりです(笑)。
でもメッチャ得をしているお客様！ そんな皆さんの前で喋れる幸せな私！
ご来場お待ちしております。

予告 次号『MARCL+181』(2025年1月発行予定) にて発売予定の主な落語・狂言公演

● 柳家権太楼 独演会	2025年 3月9日(日) 14:00	三鷹市芸術文化センター 星のホール
● 瀧川鯉昇 独演会	3月23日(日) 14:00	三鷹市芸術文化センター 星のホール
● 東西狂言の会	4月12日(土) 14:00	三鷹市公会堂 光のホール
● 柳亭市馬 独演会	4月13日(日) 14:00	三鷹市芸術文化センター 星のホール

ほか

発掘された珠玉の名品 少女たち

—夢と希望・そのはざまで— 星野画廊コレクションより

12月14日(土)～2025年3月2日(日)

会場 三鷹市美術ギャラリー Tel: 0422-79-0033
三鷹市下連雀3-35-1 *JR三鷹駅(南口)前CORAL5階

開館時間: 10:00～20:00 (入館は19:30まで)

休館日: 月曜日(1/13、2/24は開館)、
年末年始(12/29～1/4)、1/14(火)、2/25(火)

観覧料: 会員640円 / 一般800円

65歳以上・学生(大・高)500円

*中学生以下および障害者手帳等をお持ちの方は無料

企画協力: 青幻舎プロモーション



岡本神草《拳の舞妓》1922年頃 / 絹本彩色



笠木治郎吉《花を摘む少女》1897～1912年 / 水彩

京都・岡崎の神宮通に面した星野画廊は、星野桂三・万美子夫妻が50年にわたり営んできた老舗画廊です。ここでは描いた画家の名前にとらわれず、不遇に埋もれていた優品を数多く発掘してきました。星野氏自ら資料による裏付けを行い、企画展として紹介してきた作品は膨大な数にのぼります。

今回は、そのコレクションの中から女性を描いた作品をご紹介します。画面に描かれているのは、少女だけでなくさまざまな年代と境遇の女性たちです。少女という夢と希望にみちた時代を通過した彼女たち——そして、不運にも時代の潮流から外れ時代とともに埋もれた画家たちの存在は、わたしたちが学んだ美術の歴史が、ひとつの側面にすぎなかったことを語っています。星野氏が見いだした珠玉の作品を通して、新たな美との出会いをご体験ください。

【会期中、一部展示替えあり】



粥川伸二《娘》1928年 / 絹本彩色



アフタヌーン・ミニコンサート

大正末期の洋館に響く、管弦楽器の音色をお楽しみください。

12月8日(日) 15:00-15:30

会場 三鷹市山本有三記念館 1階展示室A

出演 みたかジュニア・オーケストラ(MJO)有志

【定員】25人 **【参加費】**300円(入館料) **申込方法** 電話予約 *先着制

おはなし会

各回 14:00-14:30

おとぎ話に出てくるような洋館の中で、おはなしを聴く楽しいひと時をお過ごしください。

第65回 12月14日(土)、第66回 2025年1月18日(土)

会場 三鷹市山本有三記念館 1階展示室B

【対象】未就学児から小学1年生程度 *申込不要、直接ご来館ください。

【参加費】無料 *未就学のお子さまは、保護者同伴でお越しください。*同伴の保護者は、入館料(300円)が必要です。

内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居など **語り手** おはなしあずきの会(三鷹市立図書館を中心に活動されているボランティアの皆さま)



第9回市民賞 湯浅敦「Sweet home_003」

三鷹市山本有三記念館 スケッチコンテスト

第10回

募集作品 三鷹市山本有三記念館
または有三記念公園を描いたもの

作品募集締切日 12月15日(日) 必着

*応募規定等の詳細は、財団ホームページをご確認ください。

主催：公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団
協力：特定非営利活動法人みたか都市観光協会

山本有三記念館を題材とした絵画作品を募集し、コンテストを開催いたします。記念館は、大正末期に建てられた洋風建築であり、作家の山本有三が昭和11(1936)年から21(1946)年まで家族と共に暮らした家です。三鷹市の有形文化財に指定されている山本有三記念館を、あなただけのタッチで描いてみませんか？
ご応募いただいた作品はすべて、コンテスト会場である三鷹市公会堂さんさん館にて展示いたします。

コンテスト期間 2025年1月18日(土)～26日(日) 10:00-18:00

会場 三鷹市公会堂さんさん館(三鷹市野崎1-1-1) *1/20(月)は休館

【各賞】山本有三記念館賞、市民賞、審査員特別賞、みらい賞(小学生以下対象) *各1点(賞状+記念品)

【審査方法】コンテスト来場者の投票および審査員の推薦に基づき受賞作品を決定

●三鷹市山本有三記念館 〒181-0013 三鷹市下連雀2-12-27 Tel: 0422-42-6233

開館時間：9:30-17:00 休館日：月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)

入館料：300円(20名以上の団体200円) *中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料
*「東京・ミュージアムぐるっとパス2024」利用者は無料 *年間パスポート1,000円(購入日から1年間有効。受付にて販売)

吉村昭作品朗読会

初開催



第1回 12月6日(金) 18:00-19:00

会場 三鷹市吉村昭書斎

出演 宇井晴雄(俳優) **朗読作品** 「天狗争乱」

太宰治作品朗読会に出演し、好評を得ている宇井晴雄さんの朗読で、「天狗争乱」をお届けします。「天狗争乱」執筆時の机上を再現した書斎の見学後に、朗読の世界へとご案内します。

【定員】20人 **【参加費】**100円(入館料)

申込締切 11月21日(木) 必着 *申込は、お1人様1通のみ *申込多数の場合は抽選

申込方法 往復はがきで下記申込先「吉村昭朗読会係」宛てにお送りください。
往信はがきに、①参加者氏名(2人まで)、②代表者の住所・電話番号を、返信はがきに宛先をご記入ください。



文芸

吉村昭書斎

●三鷹市吉村昭書斎

〒181-0001 三鷹市井の頭3-3-17 Tel: 0422-26-7500

開館時間：10:00-17:30 休館日：月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日と翌々日が休館)

入館料：交流棟無料、書斎棟100円 *中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料
*「東京・ミュージアムぐるっとパス2024」利用者は無料 *年間パスポート300円(購入日から1年間有効。受付にて販売)

太宰治作品朗読会

【定員】各回25人 参加費無料



撮影：荒井純一

第176回 12月20日(金) 18:00開演 (18:50終演予定)

出演 女鹿伸樹(俳優) **朗読作品** 「メリイクリスマス」ほか

俳優、ナレーターとして活躍する女鹿伸樹さん。今回は、戦後の三鷹駅前が舞台となった「メリイクリスマス」を朗読します。シズエ子ちゃんのモデル・林聖子さんが、フィクションにノンフィクションが絶妙に織り交ぜられていると語った本作を、太宰治文学サロンでお楽しみください。



第177回 2025年1月17日(金) 18:00開演 (18:50終演予定)

出演 中村雅子(朗読家) **朗読作品** 「雀」「雀こ」ほか

太宰治と同郷で、太宰作品をライフワークとする中村雅子さん。三鷹市が直筆原稿を購入したことで話題となった「雀」と、全編津軽弁で書かれた「雀こ」を本場の津軽弁でお届けします。お楽しみに！

申込締切 第176回 12月5日(木) 必着 / 第177回 2025年1月6日(月) 必着

申込方法 往復はがきで下記申込先「太宰治朗読会係」宛てにお送りください。往信はがきに、①ご希望の回、②参加者氏名(2人まで)、③代表者の住所・電話番号を、返信はがきに宛先をご記入ください。
*申込は各回につき、お1人様1通のみ *申込多数の場合は抽選

●太宰治文学サロン

〒181-0013 三鷹市下連雀3-16-14 グランジャルダン三鷹1階 Tel: 0422-26-9150 入館無料

開館時間：10:00-17:30 休館日：月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)

文芸

太宰治文学サロン

18

文芸

17

山本有三記念館

申込・問合せ

会場・申込

みたか井心亭

純和風数寄屋造りの穏やかな雰囲気のお部屋で、日本の伝統文化を季節とともに楽しむ講座のご紹介です。

茶道体験教室

お茶の点て方など、茶道の基本的な作法を体験できる講座です。

第5回 裏千家

2025年2月2日(日) 14:00-15:30

【定員】15人 【対象】茶道未経験者(小学3年生以上)

【参加費】700円/1人 【持ち物】白足袋か白い靴下

申込締切 12月20日(金) *往復はがきは消印有効



講師 三鷹市茶道連盟

今後の開催日程

第6回 煎茶(立礼) 2025年3月9日(日)

*詳細は次号のMARCL+でお知らせいたします。



申込フォーム



講師 三鷹市華道連盟

華道体験教室

季節のお花を使い、生け花の基本的な作法を体験する講座です。

第3回 2025年2月16日(日) 14:00-15:30

【定員】12人 【対象】華道未経験者(小学3年生以上)

【参加費(1人)】小学3年生~6年生 800円
中学生以上 1,200円

【持ち物】台布巾

申込締切 2025年1月17日(金)

*往復はがきは消印有効

申込フォーム▶



申込方法 往復はがきまたは申込フォームから希望講座ごとにお申し込みください。

往復はがきは、下記申込先「(希望講座名) 係」宛てにお送りください。

往信はがきに、①参加希望人数(2人まで)、②参加者全員の氏名・年齢、③代表者の住所、④代表者の電話番号を、返信はがきに宛先をご記入ください。

*申込多数の場合は抽選 *申込締切後、1週間程度で返信はがきもしくはメールにて抽選結果をご連絡します。

*申込は各事業につき、いずれかの申込方法で1人様1回限り *各回完結で、連続する内容ではありません。

●みたか井心亭

Tel: 0422-46-3922

〒181-0013 三鷹市下連雀2-10-48

*JR三鷹駅南口から徒歩15分



2024 ポッチャみたかカップを観戦しよう!!

東京2020パラリンピック競技大会の正式種目である「ポッチャ」。

本大会では、24チーム6ブロックに分かれて予選リーグの総当たり戦を行い、各ブロック上位2チームによる決勝リーグ戦(シードなし総当たり戦)で優勝を争います。

*参加申し込みは終了しています。

12月7日(土) 10:00-15:00 観覧無料

会場 SUBARU総合スポーツセンター メインアリーナ

*観覧席での観戦となります。室内履き、外履きを入れる袋を持参の上ご来場ください。

問合せ

三鷹市スポーツと文化財団

Tel: 0422-45-1113

三鷹市スポーツと文化部スポーツ推進課

Tel: 0422-29-9863



優勝、準優勝チームは三鷹市の代表として、2025年1月25日(土)開催の「令和6年度東京都市町村ポッチャ大会」への出場権を獲得! 出場権をかけた、白熱した戦いを観戦しましょう!

子どもの運動習慣定着事業

運動能力の3大要素 「走る」「跳ぶ」「投げる」力を 測ってみよう!

日本女子体育大学健康スポーツ学科監修のイベントです!

このイベントでは、保護者の方は子どもの運動習慣の重要性を講義形式で学んでいただき、その間にお子さまの運動能力測定を行います!

2025年1月13日(月・祝) 10:00-11:30

会場 SUBARU総合スポーツセンター サブアリーナ、生涯学習センター ホール

【対象】三鷹市在住・在園の未就学児とその保護者 【定員】30組 【参加費】無料

【持ち物】動きやすい服装、室内用運動靴、外靴を入れる袋、ふた付き飲み物

申込方法 講座申込システム 申込期間 12月1日(日)~12月17日(火)

主催:公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団 監修:日本女子体育大学健康スポーツ学科

問合せ SUBARU総合スポーツセンター地下1階運動施設事務室 Tel: 0422-45-1113



●SUBARU 総合スポーツセンター [HP] <https://www.mitakagenki-plaza.jp/sports/>

〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ内 Tel: 0422-45-1113

開館時間: 9:00-22:00 休館日: 毎月第4月曜日(第4月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日)

●講座申込システム <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp>

講座申込▶



創る楽しむみんなの広場

三鷹市生涯学習センター
フェスティバル

展示・手作りの販売 (作品イメージ)



カフェ・軽食 (焼き菓子)



体験プログラムの様子 (哲学対話)

さまざまな生涯学習活動の紹介、発表、体験プログラムを通して、市民の皆さんに生涯学習の楽しさを伝え、学習への興味・関心をもていただくため、生涯学習センターフェスティバルを開催します。

12月7日(土)、8日(日) 各日10:00-16:00

会場 生涯学習センター・体育室 (元気創造プラザ1階)

内容 【ステージ発表】

キッズダンス、フラダンス、民謡、合唱など市内で活動している自主グループの皆さんが日頃の練習の成果を発表します。

【展示・手作りの販売・活動紹介】

陶芸、絵画、書、手芸作品などの作品展示や、自主グループ活動紹介、市民大学などの主催講座を紹介します。

【カフェ・軽食販売】

カレーライス、フランクフルト、焼き菓子、コーヒー など

【体験プログラム】

はじめての方、大歓迎! 茶道、ストレッチなどの体験、手作り小物や哲学対話のワークショップを開催します。

【クイズラリー】

クイズに答えてプレゼントをもらおう! *プレゼントがなくなり次第終了します。

吉村昭の「戦後」

文学は戦後、多くの人々の教養と娯楽を兼ねた対象としてクローズアップされ、多くの人気作家が登場しました。この時代、吉村昭が書いた小説はなかなか一般の評価が得られませんでした。注目をされたのは『戦艦武蔵』をはじめとするノンフィクション文学を書いてからです。この誤差の背景にはいったい何があったのでしょうか。本講演では、日本大学名誉教授の紅野謙介氏を講師に迎え、吉村昭の文学活動を「戦後」という観点からお話しいただきます。



講師
紅野謙介
(日本大学名誉教授)

【全2回】各回13:30-15:30 会場 生涯学習センター ホール

12月22日(日) 吉村昭と雑誌『文学者』の作家たち

2025年1月19日(日) 吉村昭と戦後日本のノンフィクション文学

【定員】30人 *申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先 **【対象】16歳以上の方**

【受講料】2,000円 (全2回) *各回申込不可

申込締切 12月1日(日) 必着 **申込方法** 講座申込システムまたは往復はがき

もっと知りたい
ベートーヴェン『第九』～初演200年記念～

2024年は、ベートーヴェン(1770～1827年)の「交響曲第9番」がウィーンで初演されてから200年にあたります。これを記念し、作曲経緯や時代背景、その意義について考えるとともに、ピアノ伴奏にあわせて皆で一節歌ってみましょう。

12月27日(金) 10:00-12:00 会場 生涯学習センター ホール

【定員】40人 *申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先 **【対象】中学生以上の方**

【受講料】一般1,000円 / 中高生500円

申込締切 12月6日(金) 必着

申込方法 講座申込システムまたは往復はがき 往復はがき申込



講師
野本由紀夫
(玉川大学芸術学部教授)

仏像のキホン

仏像を愛する芸人・みほとけさんが、誰よりも親しみやすく仏像の世界をご案内します。仏像の役割や種類、鑑賞ポイントについて知ると、仏像・歴史美術に関する知識が育まれ、世界が広がります。仏像は難しい、わかりにくそうなど不安な方でも、年間1万以上の仏像を拝観する講師の解説で、楽しくゆっくりと深遠な仏像“沼”へご案内します。今回は、「江戸時代以降の仏像」について例え話や拝観時のエピソードを混ぜながら、楽しくお話しします。

【全3回】各回15:00-16:30 会場 生涯学習センター ホール

2025年1月15日(水) 仏像ってなんだろう?

2025年2月12日(水) 有名な仏像、地元の仏像

2025年3月5日(水) お寺めぐり初めの一步

【定員】40人 *申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先 **【対象】16歳以上の方**

【持ち物】筆記用具 **【受講料】3,000円 (全3回)** *各回申込不可

申込締切 12月15日(日) 必着

申込方法 講座申込システムまたは往復はがき オンライン決済 往復はがき申込



講師
みほとけ
(お寺・仏像研究家芸人)

オンライン決済

このマークがついている講座は、「講座申込システム」での申し込みに関りクレジット決済(支払い方法)の選択が可能です、オンラインで決済することができます。

往復はがき申込

返信用表面に住所、氏名、往信用裏面に、講座名、氏名(フリガナ)、年齢、郵便番号、住所、電話番号、この講座を何で知ったかを記載 *詳細はHPをご覧ください。

●三鷹市生涯学習センター [HP] <https://www.mitakagenki-plaza.jp/shogai/>
〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階 Tel: 0422-49-2521
開館時間 9:00-22:00 休館日: 毎月第4月曜日(第4月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日)
●講座申込システム <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp>



▲講座申込

パーソナルカラーで魅力アップ!

～新年は新たな私でスタート♪～

自分に似合う色を知っていますか? パーソナルカラーは持って生まれた自身の色素(眼・肌・髪)の色味や質感になじみ、つながる色で、あなたの魅力を引き出し際立たせてくれる色です。パーソナルカラーについて学ぶことで、自身に対する思い込みもとけるかもしれません。色に対するブロックが外れると、世界は広がります。色の効果を知ってフレッシュでワクワクする新年をスタートさせましょう!



講師
田中葉々子
(カラーリスト)

【全3回】各回14:00-16:00 会場 生涯学習センター ホール

2025年1月23日(木) 色を知る —パーソナルカラーとは—

2025年1月30日(木) 自分を知る —パーソナルカラーを決める基準とは—

2025年2月6日(木) 色を使う —パーソナルカラーの取り入れ方—

【定員】25人 *申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先 【対象】16歳以上の方

【受講料】3,000円(全3回) *各回申込不可 【持ち物】筆記用具、手鏡

申込期間 11月15日(金)～12月18日(水) 必着 申込方法 講座申込システムまたは往復はがき



市民大学一般教養コース

むらさき学苑体験講座

毎年定員を超えるご応募をいただいているむらさき学苑の、講義の体験講座です。この機会に参加してみませんか。

【全3回】各回13:30-15:30

会場 生涯学習センター ホール

受講料無料



茂木先生講義

2025年2月4日(火) 「薦重が発掘した絵師・喜多川歌麿」

講師 斎藤陽一(美術ジャーナリスト)

2025年2月18日(火) 「世界の動きと日本」 講師 茂木 貴(国際情勢アナリスト)

2025年3月4日(火) 「江戸時代三鷹の村落と農民生活」

講師 馬場憲一(法政大学名誉教授)

【定員】80人 【対象】60歳以上の三鷹市民 *今年度三鷹市民大学事業受講生は申込不可 *各回申込不可

申込開始日 11月26日(火) 申込方法 生涯学習センター窓口または電話(9:00-21:00) *先着制

むらさき学苑とは

三鷹市民大学事業「むらさき学苑」は、60歳以上の市民を対象とした年間30回の無料講座です。講義を中心に文学、美術、政治経済、健康など幅広い分野をテーマに学習しています。年2回、三鷹近隣施設に社会見学を行うほか、受講生同士の交流の機会にもなっています。

みたか学

すべての人への 最新天文学入門 —三鷹から宇宙の果てへ—

写真: M42(オリオン大星雲) ©国立天文台

国立天文台(当時の東京天文台)が麻布飯倉から三鷹に移転して、2024年で100年を迎えました。この間の世界の天文学研究の発展を概観しましょう。そして、国立天文台が果たした役割と今後の目標をお話しします。どなたでも気軽に楽しめる初心者向けの講座です。

【全3回】各回19:00-20:30 会場 生涯学習センター ホール

2025年2月28日(金) 私たちはどこから来たのか?
—恒星の一生と物質の起源—

2025年3月7日(金) 私たちはどこに行くのか?
—加速膨張する宇宙—

2025年3月14日(金) 私たちは何者なのか?
—地球外生命探査と地球外知的生命体—



講師
縣 秀彦
(国立天文台准教授)

【定員】30人 *申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先

【対象】16歳以上の方 【受講料】1,500円(全3回) *各回申込不可

申込期間 12月10日(火)～2025年1月31日(金) 必着 申込方法 講座申込システムまたは往復はがき



みたか学とは

何となく知っているけど、詳しくは知らない。みたかについてのあれこれを、この際さっぱり学び、みたかについて考える、生涯学習センターの講座シリーズです。

オンライン決済

このマークがついている講座は、「講座申込システム」での申し込みに限りクレジット決済(支払い方法)の選択が可能で、オンラインで決済することができます。

往復はがき申込

返信用表面に住所、氏名、往信用裏面に、講座名、氏名(フリガナ)、年齢、郵便番号、住所、電話番号、この講座を何で知ったかを記載 *詳細はHPをご覧ください。

申込
問合せ

- 三鷹市生涯学習センター [HP] <https://www.mitakagenki-plaza.jp/shogai/>
〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階 Tel: 0422-49-2521
開館時間 9:00-22:00 休館日: 毎月第4月曜日(第4月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日)
- 講座申込システム <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp>



▲講座申込

三鷹市芸術文化センター 風のホール

 **アリーナ・イブラギモヴァ & セドリック・ティベルギアン デュオ・リサイタル**
11月23日(土・祝) 15:00 開演 

 **アヌーナ**
12月8日(日) 16:00 開演  
アヌーナ コーラス・ワークショップ
12月8日(日) 14:15-15:00

 **上野耕平 × 山中惇史 × 石若 駿**
12月21日(土) 16:00 開演  

 **New! 風のホールでピアノを弾こう！
ベーゼンドルファー編**
▶P3 2025年1月8日(水)・17日(金)・29日(水)
 12月1日(日)

 **New! トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア
第90回定期演奏会**
▶P4 2025年3月15日(土) 15:00 開演 
 会員 11月20日(水) / 一般 11月22日(金)

 **レ・ヴァン・フランセ**
2025年3月16日(日) 14:00 開演  

 **New! みたかジュニア・オーケストラ
第25回演奏会**
▶P5 2025年3月23日(日) 14:00 開演 
 会員 11月20日(水) / 一般 11月22日(金)

 **New! フライブルク・バロック・オーケストラ
with クリスティアン・ベザイテンホウト**
2025年4月6日(日) 14:00 開演 
▶P6  会員 11月21日(木) / 一般 11月28日(木)

三鷹市芸術文化センター 星のホール

 **CINEMA SPECIAL
スクリーンで観たい、チャップリン**
▶P11-12 午前の部 11:00 / 午後の部 14:00 上映開始
11月16日(土)『黄金狂時代』 

2025年1月25日(土)『街の灯』 
 会員 11月14日(木) / 一般 11月15日(金)

 **New! 2025年3月29日(土)『ライムライト』**
 会員 2025年1月23日(木)
一般 2025年1月24日(金) 

 **三遊亭兼好 独演会 **
12月1日(日) 14:00 開演

 **劇団普通『病室』**
12月6日(金)～15日(日) 全12公演 
▶P7-10  *12/7(土) 14:00の回のみ

 **柳家さん喬 独演会**
12月21日(土) 14:00 / 18:00 開演 
 *14:00の回のみ

 **ファミリーコンサート in 星のホール
絵本と音楽のコンサート **
12月22日(日) 14:00 開演

 **New! 新春初笑い寄席
林家たい平 独演会**
▶P13 2025年1月19日(日) 14:00 開演 
 会員 11月24日(日) / 一般 11月27日(水)

 **New! 桂宮治 独演会**
▶P13 2025年1月26日(日) 14:00 開演 
 会員 11月24日(日) / 一般 11月27日(水)

 **New! 柳家喬太郎 みたか勉強会**
▶P14 2025年2月1日(土) 14:00 / 18:00 開演
 会員 11月30日(土) / 一般 12月4日(水)
 *14:00の回のみ 

 **New! 立川志らく 独演会**
▶P14 2025年2月22日(土) 14:00 開演 
 会員 12月1日(日) / 一般 12月5日(木)

 **New! 柳家花緑 独演会**
▶P15 2025年3月22日(土) 14:00 / 18:00 開演
 会員 12月1日(日) / 一般 12月5日(木)
 *14:00の回のみ

三鷹市美術ギャラリー

 **太宰治展示室「三鷹の此の小さい家」
企画展示 石井立が遺したもの**
―編集者としての喜びは《できるかぎりよき本》をつくること―
12月1日(日)まで 10:00-18:00

 **New! 発掘された珠玉の名品 少女たち
―夢と希望・そのはさまで― 星野画廊コレクションより**
▶P16 12月14日(土)～2025年3月2日(日)
10:00-20:00 *入館は19:30まで

みたか井心亭

 **New! 茶道体験教室**
▶P19 第5回 裏千家 2025年2月2日(日) 14:00-15:30
 12月20日(金)

 **New! 華道体験教室**
▶P19 第3回 2025年2月16日(日) 14:00-15:30
 2025年1月17日(金)

三鷹市山本有三記念館

 **企画展 山本有三 没後50年
「濁流 雑談 近衛文麿」―燃ゆる創作への想い―**
2025年5月11日(日)まで 9:30-17:00

文化の日特別展 11月17日(日)まで

 **第10回 三鷹市山本有三記念館
スケッチコンテスト作品募集**
▶P17  12月15日(日)

 **New! アフタヌーン・ミニコンサート**
▶P17 12月8日(日) 15:00-15:30

 **おはなし会 各回 14:00-14:30**
▶P17 


太宰治文学サロン

▶P18 **太宰治作品朗読会 各回 18:00-18:50**

 12月5日(木)


 2025年1月6日(月)

三鷹市吉村昭斎斎

 **企画展示 三鷹市吉村昭斎斎開館記念
三鷹で暮らした吉村昭 三鷹市収蔵資料展**
2025年1月13日(月・祝)まで 10:00-17:30

 **New! 吉村昭作品朗読会**
▶P18 第1回 12月6日(金) 18:00-19:00
 11月21日(木)

SUBARU 総合スポーツセンター

 **New! 2024 ポッチャみたかカップ 観戦**
▶P20 12月7日(土) 10:00-15:00
*大会への参加申し込みは終了しています。

 **New! 子どもの運動習慣定着事業**
▶P20 2025年1月13日(月・祝) 10:00-11:30
 12月1日(日)～12月17日(火)

三鷹市生涯学習センター

 **New! 生涯学習センターフェスティバル**
▶P21 12月7日(土)、12月8日(日)
各日 10:00-16:00

 **New! 吉村昭の「戦後」**
▶P21 12月22日(日)、2025年1月19日(日)【全2回】
各回 13:30-15:30  12月1日(日)

 **New! もっと知りたい
ベートーヴェン『第九』～初演200年記念～**
▶P22 12月27日(金) 10:00-12:00
 12月6日(金)

 **New! 仏像のキホン**
▶P22 2025年1月15日(水)、2月12日(水)、
3月5日(水)【全3回】各回 15:00-16:30
 12月15日(日)

 **New! パーソナルカラーで魅力アップ！
～新年は新たな私でスタート♪～**
▶P23 2025年1月23日(木)・30日(木)、2月6日(木)
【全3回】各回 14:00-16:00
 11月15日(金)～12月18日(水)

 **New! 市民大学一般教養コース
むらさき学苑体験講座**
▶P23 2025年2月4日(火)・18日(火)、3月4日(火)
【全3回】各回 13:30-15:30
 11月26日(火)

 **New! みたか学
すべての人への最新天文学入門
―三鷹から宇宙の果てへ―**
▶P24 2025年2月28日(金)、3月7日(金)・14日(金)
【全3回】各回 19:00-20:30
 12月10日(火)～2025年1月31日(金)

後援事業

中東、そして北欧 ～いにしえよりの3つの物語に思いをさせて…

三鷹市管弦楽団 第63回定期演奏会
12月15日(日) 14:00 開演
会場 三鷹市芸術文化センター 風のホール
 入場料：1,000円
▶出演 伊藤 翔(指揮)、三鷹市管弦楽団
▶曲目 グエルディ：歌劇「ナブッコ」序曲
シベリウス：交響詩「エン・サガ」op.9
リムスキー＝コルサコフ：交響組曲「シェヘラザード」op.35
主催・問合せ 三鷹市管弦楽団 電話 090-4222-0662 (矢崎)

*チケット購入枚数に、制限のある公演があります。 *U-23利用の中学生以上の方、0-70利用の方は、公演当日に身分証明書をご持参ください。
*学生券をお求めの方は公演当日に学生証をご持参ください。 *公演内容等は変更になる場合もあります。
*公演中止の場合を除き一度購入されたチケットの払い戻し・交換はできません。 *営利を目的としたチケットの転売は固くお断りいたします。
*情報誌の作成中にチケットが完売となる場合もありますので、ご了承ください。 *申込を締め切った事業は掲載していません。
*風のホール2階席へのエレベーターはありませんので、階段をご利用ください。 *次号の MARCL+181は2025年1月発行予定です。